

尿路結石の研究(第一回報)

板倉清

大正九年八月より昭和七年十二月に至る迄の慶大泌尿器科教室に保存せられし尿石一三二例に就て外觀的觀察「レントゲン」的觀察尿石の「レントゲン」線透過の實驗的觀察、剖面の構造、化學的觀察等に就き詳細に報告せり。(富板抄)

日本泌尿器科學會雜誌 第二四卷第七號

(昭和十年七月)

腎摘出に對する腹膜外前腹壁切開法に就て

信岡徳

著者は腎摘出に際し、腹膜外前腹壁切開法を行ひて、其利點を擧げ本法は腎摘出に對する正規的手術と見做すと云ふ。(富板抄)

一卵性双胎の兩兒に現はれたる馬蹄鐵腎に就て(二例)

吉岡勝衛

一卵性双胎の兩兒(推定月齡六胎月)に現はれたる馬蹄鐵腎に就て形狀、位置及大き、動靜脈及異狀腎靜脈に就て報告す。(富板抄)

副睾丸結核の五百例

坂口弘治郎

大森周三郎

抄録

著者等は副睾丸結核患者五〇〇例に就て、頻度、年齡、患側、誘因、主訴、副睾丸及輸精管の觸診上の所見、合併症療法等に就き詳細に報告す。(富板抄)

日本泌尿器科學會雜誌 第二四卷第八號

(昭和十年八月)

内尿道切開術に就て

山本春海

著者は十例の内尿道狹窄症(九例は淋疾性癢痕狹窄、一例は外傷に起因せるもの)に Maisonneure 氏尿道切開刀を用ひて内尿道切開術を施行し外尿道切開術に比すれば其術式の簡單なる事と經過の迅速なる點に於て遙かに優れりと云ふ。(富板抄)

双胎兒に於ける腎靜脈の異常に就て

吉岡勝衛

一卵性及二卵性双胎の兩兒の各一例宛に於て其腎靜脈の異常につき、同一組の双胎兒相互間及卵性を異にせる兩種双胎間の比較考察を試みたり。(富板抄)

包莖手術の實驗並に包莖に関する二、三の觀察

日下正大勇

著者は包莖手術帶を使用する術式及縱環斜切法なる術式の二種の方法を創案し其長所を擧げ、二八五例中二七一例に施行し其全實驗

第五卷 四四七